

(別紙4(2))

事業所名: (有)大東 グループホームほのぼの新館

作成日: 令和 3 年 1 月 23 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	今後の取り組みとして、例えば年初めに年度分の議題やテーマを設定し、議題やテーマに沿った出席者や講師の依頼を検討する等、より充実した会議となる事を期待したい。	年度初めにその年度6回分の議題を決め、前もって議題やテーマに沿って講師をお願いする等充実した会議を開催する。又、推進員の方へも議題にしてほしい事等を述べてもらう機会を持つ。	年度末の会議で次年度分(6回)の議題やテーマを文書で交付する。(例)5月/新年度の計画、身体拘束廃止委員会報告。7月/風水害対策、避難訓練。9月/行事報告(敬老会等)11月/火災訓練報告、ヒヤリハット等。1月/年末・年始の入居者様情報。3月/外部評価報告、次年度報告。	2ヶ月
2	6	職員が日々の介護実践の中で身体拘束に該当する11項目と3原則、3つのロックについて心掛け、意識付けられるよう簡易マニュアルを作成するとともに、その都度振り返りが出来る様身近な場所に設置する等、職員が身体拘束について意識を持って支援が出来る事に期待したい。	3か月に1回、身体拘束廃止に向けた勉強会を行っているが職員が日々の介護で意識向上が出来るように簡易マニュアルを作成し11項目と3原則、3つのロックが日常的に唱和できる環境を作る	職員室や常時目を通す掲示板に11項目3原則、3つのロックを貼りだし意識向上を図る。又、職員の取り組み状況をスタッフ会議の席で確認する。	2ヶ月
3	35	避難時の緊急持ち出し一覧表を作成しているが、例えば介護・医療保険情報の追記や入居者の日頃のADL状態が確認できる全身写真の添付掲載など、避難した先でも入居者の情報をより把握しやすいよう一覧表を工夫する事に期待したい。	入居者の顔写真入りの非常持ち出し一覧表はあるが実際に避難した時、誰が見ても分かる様、入居者の全体像を写した写真を掲載し、介護保険証のコピーなども貼り医療・介護両面からの情報を掲載し、身体情報が共有できるようにする。	入居者の全体像を映した写真などを貼る事で、その人が自力歩行可能か杖や押し車などの把握もでき、スムーズな介護に繋げる。又、専門用語を減らして分かりやすい文章を心がける。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。